

拠点名称：家族が繋がる、人とIT技術等が共生する健康街づくり実現拠点

代表機関	藤田医科大学	プロジェクトリーダー	齋藤 邦明 藤田学園 理事 藤田医科大学 医療科学部 学部長／ 大学院保健学研究科 臨床検査学領域 教授／ イノベーション推進部門 部門長 産官学連携推進センター センター長
幹事自治体	豊明市	幹事機関	(企業等) 株式会社スギ薬局
参画機関	(企業等) 株式会社トパソコン		

プロジェクトの概要

拠点ビジョン(未来のありたい社会像)の内容

本拠点では、意識せずに健康になれる社会、スマートヘルスケアタウンの実現のため、健康診断・健康モニター・食習慣・薬歴等のヘルスケアデータのプラットフォームにより、各自の健康情報の管理・閲覧をスマートフォンで行い、市民が日々利用するドラッグストアを健康サポート拠点に、さらに人が集まる場所での健康モニターを可能とし、家族間でのデータ共有によるスマートヘルスタウンの実現を目指します。

拠点ビジョン実現の為のアプローチ

健康寿命延伸の課題は、継続性と行動変容等です。本拠点では、健康サービス・モニター拠点としてドラッグストアでの実証研究の実施に加え、健康診断、食習慣、健康モニター等の健康データを管理、利活用できるヘルスケアデータプラットフォームを構築し、製品開発や技術創出等の産学連携により、個人の健康状態にあった食や活動の提案、リスク予測モデル構築、健康アラートの可視化、疾患の早期発見と早期治療を目指します。また、ヘルスケアデータの管理・閲覧アプリにより、各自の健康管理、行動変容を促進し、ドラッグストア等での健康・栄養相談やクリニック・病院への情報提供による早期治療を実現します。

拠点ビジョン実現に向けた拠点の強み

本学は、10年以上本地域と地域包括ケアで連携し、県内外の自治体とも連携協力を進めています。また、幹事機関とも地域医療に関する協定を締結し、産官学での地域医療の促進に関わっています。産学連携では、検査・診断・リハビリテーション・ロボティクス・Dx化など多業種での研究を実施しており、地域と産学連携基盤により、本事業ビジョン実現を目指します。

スマートヘルスケアタウンモデル

